

第5学年 道徳学習指導案

2021年5月15日（土）

授業者 1組 岸野 航太
2組 中澤 優美
3組 林谷 健太郎

- 1 ねらい 生きていることのすばらしさを喜びに感じ、かけがえのない生命を尊重し大切にしようとする心情を育てる。
- 2 教材名 「クマのあたりまえ」（『新しい道徳』東京書籍）
- 3 授業の流れ

	学習活動と主な発問等	指導上の留意点 ☆評価
導入	(1) 生きている喜びについて考える。 ○最近嬉しかったことはどんなことがありますか。 ・テストでいい点数を取った。 ・友達とさらに仲が良くなった。	・事前に子供にアンケートを取っておき、それを発表させる。発表した児童には、嬉しかった理由も尋ねる。
展開	(2) 資料「クマのあたりまえ」を読み、生きていることのすばらしさや喜びについて考える。 ○子グマは、どうして死んだおすグマのことが忘れられなかったのでしょうか。 ・死んだクマを初めて見たから。 ・それほどショックを受けたから。 ○子グマは、ほかにどんなことで石に怒られたのでしょうか。 ・笑う。 ・お腹が空く。 ・遊ぶ。 ・ゲームをする。 ◎子グマはどんな思いで、「クマのほうがいいってわかったんだ。」と言ったのでしょうか。 ・これまでの生活のほうが、楽しくて、自分らしいから。 ・やっぱりお兄ちゃんや家族と一緒にいたいと思ったから。	・「死」への恐れを感じたことや生命の有限性などを感じさせるようにする。 ・石に怒られそうなことを押さえることで、「生きているからこそできる当たり前のこと」に触れさせる。 ・まずは、自分の考えをワークシートに記入する。その後、グループをつくり、意見を共有し、グループで出した意見を1つ発表する。 ☆生きていることのすばらしさを喜びに感じ、かけがえのない生命を尊重し大切にしようと考えている。【発言・ワークシート】
終末	(3) これからの自分の在り方について考える。 ○生きているからこそ、感じること、できることには、どんなことがありますか。 ・楽しい・嬉しいなどと感じること。 ・頑張ったら、その努力が報われること。 ・嫌なことも、生きているからこそ感じられる。	・導入で発表したことと関連させて考えさせる。ワークシートに自分の意見を記入後、全体で意見を共有させる。

授業の見どころ

○児童一人一人が生きていることについて考えやすい教材である。また、身近なことから生きていることの喜び、感動、感謝などに気付いていけるような流れになっていることが見どころである。